



乾杯を  
もっとおいしく。

## 「サッポロ SORACHI 1984」売上の一一部を 国産ホップ生産者支援のために寄付

流通企業10社と日本のホップ産業振興



(左) 上富良野町 謹呈式 (右) 岩手県北ホップ農業協同組合 謹呈式

サッポロビール(株)は「サッポロ SORACHI 1984」の売上の一一部を上富良野町および、岩手県北ホップ農業協同組合に寄付しました。

本企画は、ビールづくりに欠かせない“ホップ”の生産者が年々減少している中で、ホップ生産者支援的目的にしています。「サッポロ SORACHI 1984」ブランド初の取り組みとして、ユニバース、ベルジョイス、近畿圏ライフ、コープ東北サンネット、酒のやまや、イオン、ラルズ、道北アーツ、東光ストア、北雄ラッキーの合計10社の協力のもと、「サッポロ SORACHI 1984」の売上1本あたり5円を寄付しました。

<協力企業>



「サッポロ SORACHI 1984」はサッポロビールが1984年に開発し、今や世界中のブリュワーから人気となっている伝説のホップ「ソラチエース」を100%使用(注1)しています。2019年4月に通年販売を開始し、2024年には、販売数量も前年比115%と好調に推移しました。2023年には北海道(上富良野町)と東北(岩手軽米町・青森田子町)でソラチエースの生産量を350kgから4000kgまで増やす大規模なホップ改植を実施しました。毎年のリニューアルで「国産ソラチエース」の使用比率を増やしており、将来的に「国産ソラチエース」100%の「サッポロ SORACHI 1984」をつくるという夢の実現を目指とともに、「ホップでビールを選ぶという新しい楽しみ方」をお客様に提案し、日本のホップ産業やビール市場の発展に貢献していきます。

(注1)アメリカ産ソラチエースホップを多く使用しています。上富良野産は一部使用です。

### ■岩手県北ホップ農業協同組合 謹呈式

1. 日程 2025年12月17日(水)
2. 場所 かるまい文化交流センター(岩手県軽米町軽米第8地割87-1)
3. 贈呈先 岩手県北ホップ農業協同組合
4. 出席者

代表理事組合長 中里 照夫様 副組合長 田沼 義行様  
サッポロビール（株）東日本流通本部 東北第2営業部 部長 鈴木 孝幸  
5. 寄付金 256,530円

■上富良野町 謹呈式

1. 日程 2025年12月24日(水)  
2. 場所 上富良野町 町長室（北海道空知郡上富良野町大町2丁目2-11）  
3. 贈呈先 上富良野町  
4. 出席者  
上富良野町 町長 斎藤 繁様  
サッポロビール（株）上席執行役員 北海道本社代表 兼 北海道本部長 牧野 成寿  
5. 寄付金 256,530円

■サッポロ SORACHI 1984 ブリューアイングデザイナー 新井 健司コメント

「サッポロ SORACHI 1984」は、私たちが1984年に生み出し、今や世界で愛される伝説のホップ『ソラチエース』にこだわりぬいたビールです。この寄付企画は、国産ホップ産業が苦しい状況に置かれる中、ホップの未来を守り、未来のビール好きに国産ホップを使ったビールを届けるというホップ生産者様との共通の夢へ向けた、大切な一歩です。

全国の流通企業様10社にも企画への賛同とご協力をいただけたことを、心より感謝申し上げます。

「ソラチエース」のもつ唯一無二の個性を守り育む生産者様を、流通各社様と共に支援できることを大変光栄に思います。

今後も、北海道・東北の生産者様と共に「国産ソラチエース」の栽培拡大も含め、国産ホップ産業の活性化を目指し、「ホップで選ぶ楽しさ」をお届けしてまいります。



■「サッポロ SORACHI 1984」について

サッポロビールが1984年に開発し、世界中のブリュワリーから人気の伝説のホップ「ソラチエース」を100%使用（注3）したビールです。ソラチエースの特長であるヒノキ、レモングラスのような個性的な香りを生かし、将来的に国産ソラチエースホップ100%の「サッポロ SORACHI 1984」をつくるという夢に向けて、「ホップでビールを選ぶ」という新しい楽しみ方をお客様に提案しています。

（注3）希少なオリジナルの上富良野産ソラチエースを一部使用。

サッポロ SORACHI 1984 ブランドサイト：<https://www.sapporobeer.jp/sorachi1984/>

サッポロ SORACHI 1984 ブランドストーリー：<https://www.youtube.com/watch?v=-Xu1-mVpSA8>